

capture

～魅了する、とりこにする～

『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』が、前代未聞の大ヒットを記録しています。英語では“*Demon Slayer -Kimetsu no Yaiba - The Movie: Mugen Train*”。鬼は英語で demon / devil (悪魔) ですが、日本の鬼は必ずしも悪ではなく、悪霊を追い払う場合もあります。妖怪や幽霊 (ghost) に近い気もしますが、神霊的な存在でもあります。この作品では心が憎しみでいっぱいになってしまった人間が鬼になったりもしますが、外国人に鬼を理解してもらうのは意外と難しいかもしれません。

The movie **captivated** the hearts of children and adults alike.

その映画は子どもも大人もとりこにしました。

capture は「魅了する、とりこにする、心をつかむ、夢中にさせる」という意味の動詞です。心をつかんで離さないといったニュアンスですね。

alike は「同じように」という副詞。young and old alike なら「若いも若きも等しく」、learn from teachers and students alike は「先生からも生徒からも学ぶ」となります。

次は、be captivated by～ (～に夢中になる、魅了される) という形の例文です。tragic、heartwarming、powerful といった単語で形容することにより、より豊かな表現になります。

I **was captivated by** the tragic, but heartwarming and powerful story.

悲しくも、心温まる力強いストーリーに夢中になりました。

次の例文のように、capture は魅力的なものでありさえすれば何にでも使えます。

Every time I go to Italy, I'm **captivated by** the local cuisine and the charm of her people.

イタリアに行くたびに、郷土料理と人々の魅力のとりこになります。

I was captivated by her smile/voice. なら「彼女の笑顔・美声にうっとり」。the beauty of the coastal scenery (海岸の景色の美しさ)、the fascinating view from the observation deck/hotel room (展望台・ホテルの部屋からの素晴らしい眺め) などにもピッタリです。

国を表現する代名詞は she か it ですが、ネイティブの語感では she のほうが自然なようですので her people としました。

単語・熟語チェック

alike 同じように

heartwarming 心温まる

local cuisine 郷土料理

charm 魅力、人を引きつける力